

日本の色と配色における色彩文化

3年2,3組 101班 阿部水晶 小池彩絵

要旨

襲の色目を中心とした平安時代から現代に続く日本の色と配色における色彩文化について、書籍や研究論文、インタビューを通して探求する。

序論

(1)研究の目的

日本の伝統的な色について、白藍や藍白、白藤色など同じ漢字を使って異なる色を表現したり、「薄」「白」「赤」「紅」など似ている漢字を持つ色が多い。そのことから伝統的な色彩文化のあり方を再確認し現代の色彩感覚との関係性を探るため、日本の色と配色における色彩文化について調べその特徴をつかむ。

(2)調査・研究方法の概略

日本の伝統的な色については同じ漢字を含む色を調べ、襲の色目については書籍や論文から調べた。研究テーマに共通点のある、様々な時代における衣服の季節感表現についての研究の論文を読み、執筆者にインタビューを行った。

- ①日本の伝統的な色
- ②襲の色目について
- ③インタビュー

調査・研究 ①

書籍から襲の色目について調べた。

i)『日本史色彩事典』

季節を問わず薄青や白を使う襲の色目が多い。

ii)『平安の配色美 春夏秋冬かさねいろ』

春に使われる襲の色目を調べた。現在のピンクや赤、緑色が多く使われていた。赤みのある色は「梅」を使った名前の襲の色目が多く、襲の色目を構成する二種類の色の名前にも「梅」を使うものが多い。緑を使う襲の色目は全く同じ色を重ねているものが複数あり、色の名前には「柳」が多く使われている。

調査・研究 ②

『日本人の“衣服における季節感表現”に関する研究:その特徴と文化史的背景』を執筆された金井光代様にインタビューを行った結果、現代の日本人の色彩感覚の形成時期は経済的・社会的に余裕があった平安時代であり、自然物から染料の色を取ったり虫や植物のデザインを伝統模様に取り入れたりしたことなどから、自然由来のものが日本人の色彩文化の特徴としてあることなどがわかった。絶妙な色の違いを感じ取り季節感をグラデーションによって表現することも日本特有の色彩文化として挙げられる。また、平安時代と現代とで「季節」の本質的な違いはないが、現代と比べて平安時代は楽しむものという感覚がより強かった。さらに日本の伝統的な色彩文化は日本だけでなく海外の人にも人気がある和菓子や日本の文学作品などに残っている。

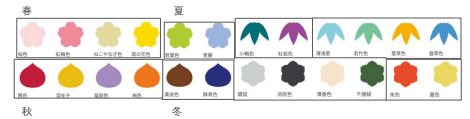
結論

襲の色目などを基盤とした自然を表現する日本人の色彩感覚は時代とともに少しずつ変わりつつも脈々と受け継がれている

【色そのものについて】

- ・自然由来の温かい色が多い(落ち着いた色、薄い色)
- ・茶色や灰色などにおいて細かいカラーバリエーション(四十八茶百鼠)

【文化における色】 季節に応じた色使い



和菓子や和装

黄色や赤は太陽信仰に根付いている



紅白文化

古色に基づく色の分類の幅 ex.青(青信号、青りんご)

小説や詩、俳句など文学作品に用いられる自然描写

さらなる発展にむけて

日本の伝統的な色彩文化が日本人の気性や生活にどのように関わっているか、国際的に比較して日本固有の特徴がどんな点において優れているかなど深掘りしていきたい

主な参考文献

日本の伝統色 和色大辞典 <https://www.colordic.org/w>

丸山 信彦(2012).『日本史色彩事典』吉川弘文館

長崎 巖(2005).『かさねいろ 春夏秋冬』ピエ・ブックス

金井 光代(2015).『日本人の“衣服における季節感表現”に関する研究:その特徴と文化史的背景』.共立女子大学大学院家政学研究科人間生活学

「好印象=心理効果のうち自分に対して肯定的なもの」と仮定し、「人に好印象を与える行動を日常で活用するにはどうすればいいのか」について研究を進めた。「同じクラスの人と仲良くなりたい場合、どんな行動をするか」というアンケートを取った。様々な場面においていくつかの行動を考え、仲良くなるためにどの行動をするか選択してもらった。その後、アンケート結果で多く選択された行動にどのような心理効果を利用されるか調べて、日常的に活用していく方法を考えた。

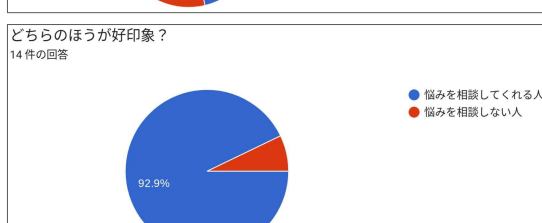
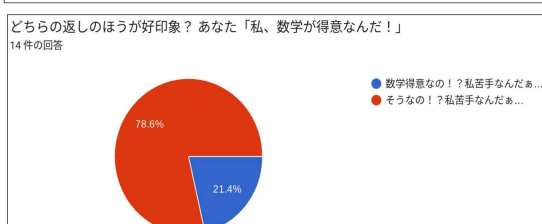
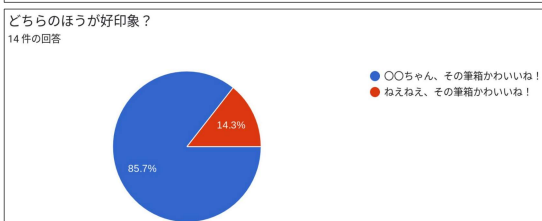
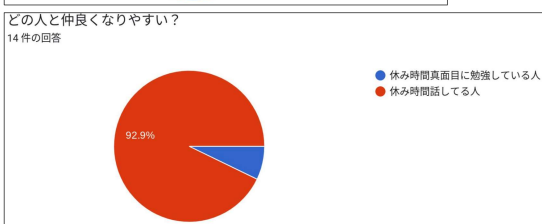
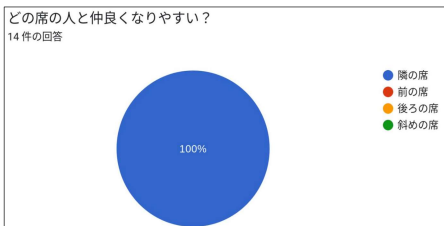
(1)研究の目的

日常生活において、人と良好な関係を築くことに苦労することが多い。そこで、人との関わりにおいて無意識に発動する心理効果を用いて、人に好印象を与える行動の活用方法を提供したい。

(2)調査・研究方法

- ①好印象を与える傾向のある心理効果を調べる
- ②調べた心理効果を5つほど挙げ、アンケートを作成し実施
- ③アンケート結果の考察
- ④考察から得られたことについてさらに調べる
- ⑤最終結果をまとめる

○アンケート調査



○アンケート調査の考察

・第一印象(近接性バイアス、単純接触効果)

物理的な距離が遠い人よりも近い人の方が親密になりやすい。繰り返し接触することで警戒心が薄れ、好感度が高まる。

○単純接触効果について

もともとある程度好感がなければ逆効果になってしまうのか？
単純接触効果とは無意識上で起こる現象である。
相手が自分に好感がないなら何度会っても好印象にならないのは当たり前。前提として自分に対してなんの感情もないこととする。そのうえで、たとえコミュニケーションを取らなくとも、自分の存在を見せることが増えるだけで、無意識的に接触回数が低い人と比べて好感は上がる。また、人物がとる行動の過程を知っていると単純接触効果は強く働く。このことから、相手に付いての理解度が好感に繋がる可能性がある。

⇒開放性の法則とも関連あるかもしれない

・会う回数を増やす(単純接触効果)

対象は人だけでなく、モノや音楽、味や匂いなどの目に見えないものでも起こる。

・名前を呼ぶ(ネームコーリング効果)

自分を知ってくれていると感じると相手を好意的に思う傾向があると考えられる。

・相手の言ったことを繰り返す(バックトラッキング)

特に初対面の相手と話す際や、短時間で深い話を引き出したい際になどに友好的であると考えられる。

・自己開示する(開放性の法則)

プライベートな部分など自己開示してくれる相手に対して自然と好意や親近感をいだきやすくなる。

○開放性の法則と単純接触効果の関連について

開放性の法則が効果を示すときの自己開示とは、ある程度相手が共感できてポジティブに受け取れる内容(趣味、自分の性格、家での過ごし方など)のものである。これを前提に単純接触効果との関連性を考えると、単純接触効果は、相手が取った行動の過程を知っているとより強く働く。つまり、開放性の法則の効果で、自分の内面事情、すなわち性格や普段の自分の様子を相手に知ってもらうことで、相手は自然とその人に親近感を抱くとともにその人がどういう人物か理解し、さらに繰り返し接触することで単純接触効果が働き、より深い関係になっていく、という相乗効果ははたらくと考えられる。したがって、単純接触効果と開放性の法則は関連している可能性がある。

結論

○今回取り上げた心理効果は、対人関係(親密度や好感度)や状況によって、その効果が肯定的にも否定的にもなりうる。

○心理効果は、複数の効果が互いに影響し合っただけで相乗効果を生み出す可能性がある。

さらなる発展にむけて

○アンケートの内容や質問方法を再度検討し直し、具体的な状況設定をしてより正確な結果が得られるようにする。

○更に心理効果を調べて、今回調べた効果との関連などを調べてみる。

古代ギリシャから現代までの精神疾患患者を取り巻く環境の変化を歴史的観点からみる

103班 名前 小倉紗雪 下元寿珠 吉澤友里

要旨

精神疾患患者を取り巻く環境を古代ギリシャ・ローマ、中世ヨーロッパ、現代の3つの時代区分に分けて調べ、関わり方や治療環境がどのように変化しているかを可視化した。また、クラスメイトに行ったアンケート調査の結果と、群馬県障害政策課の方から伺ったお話を元に、今後私たちが生きていく社会で精神疾患を抱えている人との関わり、支援し、共生していくか、について私たちの考えを提言する。

序論

(1)研究の目的

今までの精神疾患患者の扱いに関する歴史を学び、これから私たちは彼らとどのように接し、支えていくべきかを考える。また、そのために現在なされている支援や県の取り組みなどについて調査・インタビューを行い、理解を深めたうえで私達の考えをまとめる。

(2)調査・研究方法の概略

- 1 精神病の扱いを、古代ギリシャ・ローマ、中世・近代、現代の3つの時代区分で調べた
- 2 各時代の時代に対応する精神疾患患者の歴史上の偉人を調べた
- 3 クラスメイトに精神疾患患者についてどう思うかアンケート
- 4 群馬県庁障害政策課の方にインタビュー

調査・研究①

古代ギリシャ・ローマ では精神疾患は超自然的な影響によってもたらされると考えられており、一部の患者は預言者であるとされる一方で、「狂気」とみなされ神罰を受けたとされることもあった。畏怖の対象とされたり、偏見や差別を受けるなど理解がなされていなかった。

中世ヨーロッパ では精神疾患患者は他の人と「違う」とされ、宗教的に解釈されたことで「悪魔が乗り移った者」として迫害を受けていた。（「魔女狩り」で虐殺された魔女や魔法使いの多くは精神疾患患者だったと言われている）また、当時の医学的に見ても体液が原因とされたり「精神は脳に宿る」という考え方が主流で、治療法も瀉血、下剤、吐瀉、灌水などであった。さらに収容施設も見世物小屋のような扱いをされていたため、劣悪であった。

現代 になると精神疾患は誰でもかかる可能性のある病気として認識されるようになり、各疾患の特性や治療法なども知られるようになった。国も患者を支援するようになり、周りからの支援も受けやすい環境にはなりつつあるが、未だ偏見なども残っている。

調査・研究②

✂ 中世 ✂

シューマン (1810～1856)

統合失調症 (鬱)

疾患の症状に苦しめられ自我を保つことが危うくなったため家族を傷つけないよう入水自殺を図るも未遂に終わる。

ゴッホ (1853～1890)

双極性障害 (てんかん)

精神病院の入退院を繰り返し、近所の人々に「赤毛の狂人」と呼ばれる。37歳のときピストルで自殺（諸説あり）。

宮沢賢治 (1896～1933)

双極性障害を抱えていたとのこと。うつが情熱を生み、活動の原動力になった。

🌈 現代 🌈

草間彌生 (1929～)

統合失調症

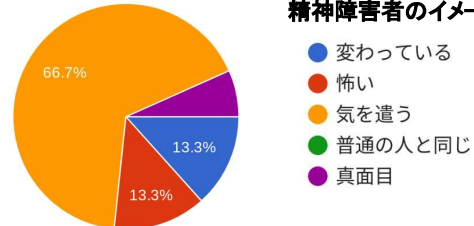
幼少期の幻覚幻聴が後の作品の題材に。

大坂なおみ (1997～)

うつ病で大会を棄権。

調査・研究③

精神障害者のイメージ



クラスメイト15人に、「精神疾患の方にどのようなイメージを持つか」についてアンケート調査した結果がこちら↑

母数は少ないが、「気を遣う」の回答が最も多いという結果が出た。精神疾患患者に対して少なからず抵抗感を覚えたり、わからないからこそどのように対応したらいいのかという戸惑いが反映されていると私たちは考察した。また「怖い」「変わっている」が次いで多く、これも精神疾患についての知識が浅いこと、無意識的に自分との線引きをしていることが根底にあるだろう。

精神疾患についてや患者の抱えている生きづらさを理解していくことが、共生の第一歩となりそうだ。

調査・研究④

現在なされている取り組みなどを群馬県庁障害政策課の方にリモートで伺い環境面において精神疾患や障害を持った方に私達がどのような対応を取るべきか、また、県や市町村がどのような支援を行っているのかについて教えていただいた。

私達にも関わるものとして現在、障害や疾患を持つ人も健常者と同じように人権が保証されるとともに社会生活において平等に参加できるようにするという概念である「合理的配慮」を、可能な限り提供することが行政、学校、職場などで求められている。これは平成25年6月に制定された障害者差別解消法に基づいている。精神疾患があるからと言って差別をしたり、逆に気を使わずに平等に接していくこと、そして支えていくことが重要であるということを学んだ。

結論

精神疾患患者との関わり方や考え方に正解が存在しない故に的を得た結論を出すことは不可能であり、合理的な結論の方向性を提示するのも難しいといったところだった。ただし、そうした存在しない正解を考える目的は障害を抱えた人をはじめとするありとあらゆる人が社会に共生し、生きづらさを軽減し快適に生活するためであると考えると、この意識こそが真の結論と言えるのかもしれない。この意識は、精神疾患の分野に限らず広く応用できるだろう。

さらなる発展に向けて

実際に行われている政策がなにを最終目標としているのか、またその政策でどのように影響が出ているか調査すると政策の根本から見直すことができる。

主な参考文献・調査等

精神科医療の歴史：<https://psychident.com/history-psychiatry-world>

精神疾患・精神保健医療の歴史

：<https://kachi-memorial-hospital.jp/blog/1389>

宗教法人法

ある日私が教祖と名乗ったら、私の宗教ができるのだろうか

2年1組・104 名前 綿貫由衣 市川愛美乃 細井ひなた

要旨

宗教とは何かを宗教法人法を通して考察する。

宗教団体は、宗教法人法に基づいて世俗の事務部分のみを法人化することで、信教の自由を保障しつつ法人格を取得することができる。

宗教法人法では、信教の自由を保障するために信仰面の内容を定義することはできない。定められているのは「宗教団体とは教義を広め、儀式行事を行い、信者を教化育成することを主たる目的とする団体」ということのみである。つまりこの3つの条件を満たしていれば、宗教団体であることを法的に否定することはできないということだ。そのため、何を以て一般的に宗教団体と認められるかは、人々の社会的通念によるところが大きい。今後の課題はその宗教性に対する社会的通念を明らかにすることだ。

序論

(1)研究の目的

当初、宗教とはなにか、私達自身で宗教をつくることのできるのかという疑問のもと、宗教を設立する方法を社会的側面に焦点を当て、「どのようなものが社会一般で宗教として認められるのか」について研究していたが、調査が困難であり、断念した。そこで、宗教法人法の解釈を中心に、法律によって定義される「宗教団体」について研究した。

(2)調査・研究方法の概略

書籍、文献、論文等の拝読、専門家へのインタビューを通し学んだ、宗教法人の性質や法解釈の方法を基に宗教法人法を解釈する。

- ① 国家と宗教の適切な関係について文献調査。
- ② 宗教団体と宗教法人の関係について論文調査。
- ③ 櫻井先生へのインタビュー、法解釈。

調査・研究 ① 宗教と国家の関係

宗教法人法

第85条 この法律のいかなる規定も、文部科学大臣、都道府県知事及び裁判所に対し、宗教団体における信仰、規律、慣習等宗教上の事項についていかなる形においても調停し、若しくは干渉する権限を与え、又は宗教上の役職員の任免その他の進退を勧告し、誘導し、若しくはこれに干渉する権限を与えるものと解釈してはならない。

法律では「信教の自由」を保障するために宗教の信仰や儀式などの信仰面の内容を定義することはできない。

調査・研究 ② 宗教団体と宗教法人の関係

1 「宗教法人」とは ……【引用】 https://law396.com/religious_corporation/

(1) 「宗教法人」は、他の法人とは、性格が異なります。

- ① 一般社団法人、一般財団法人、株式会社、学校法人、医療法人、社会福祉法人など、「一般法人」とは異なります。
- ② 一般法人は、事業を行うことが目的ですが、宗教法人は異なります。
- ③ 「宗教法人は宗教活動を行う法人」というのは、誤解です。

(2) 「宗教法人」は「宗教活動」を目的とした法人ではありません。

- ① 「宗教活動」とは、「宗教の教義をひろめ、儀式行事を行い、及び信者を強化育成する」ことをいいます。

(3) 「宗教法人の目的」は「宗教団体」の「世俗の事務」

- ① 「宗教法人の目的」は、「宗教団体」の「財務管理」など「世俗の事務」を行うことです。
- ② 「宗教団体」とは、「宗教活動」を行うことを目的とする神社・寺院・教会などや教派・宗派・教団などのことです。
- ③ 「宗教法人」は、本体である「宗教団体」の「世俗の事務」を担う法人です。

宗教団体 と 宗教法人 の関係

宗教法人は地方公共団体から認可を得た特権的な宗教団体だと考えていたが実際は、宗教団体の一部分に過ぎなかった。私達が「宗教」とみなしていたのは、世俗の事務を担う宗教法人ではなく、信仰部分を担う宗教団体であったことが分かった。



調査・研究 ③ 宗教法人法の解釈

②の論文調査より、宗教性を担う、宗教団体について調査した。「宗教団体とはなにか」について宗教法人法に明記されていた。(宗教団体の定義)

第二条この法律において「宗教団体」とは、宗教の教義をひろめ、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とする左に掲げる団体をいう。

参考文献: 宗教法人法

宗教団体についてはこの3つの条件しか存在していない。その理由は調査①、「信教の自由の保障」によって説明できる。また、宗教法人法とは、調査②で明らかにした、宗教団体の世俗の事務を担う宗教法人に関して主に定義したものである。

宗教法人法の法解釈について、宗教法人法に詳しい櫻井圀郎先生にインタビューを行った。法律とは、当初考えていたような単なる決めごとではなく、内容の解釈を通してその中に自由を見出し、利用する可能性を内包したものであることが分かった。

結論

宗教団体とは、教義を広め、儀式行為を行い、信者を教化する団体であると宗教法人法に定義されていることがわかった。また、逆に捉えれば、信教の自由を守るためにこれ以上の法律上の定義はなく、この3つの条件を満たす団体の宗教性を法的には否定できない事がわかった。

宗教法人とは、宗教団体の信仰を担う部分から世俗の事務部分を法人として分離することで、宗教の信仰を守るためのものである。主語にあたる部分が「宗教団体」であるため、認可の際にはその団体の宗教性を確認する必要があり、法律上最低限の定義がなされている。

しかし、実際の宗教法人の認可の際には3つの条件を満たす団体をすべて宗教団体として認めるわけではなく、その団体の宗教性は、「社会的な通念」に基づいて判断されている。

さらなる発展

今回の研究で法律上の宗教団体の定義は明らかにできたものの、実際には、宗教であると主張できることと、周囲からその宗教性を認められることは異なる。宗教性に対する「社会的通念」を満たすとはどういうことか。これを明らかにするのが次の課題である。

主な参考文献・調査等

- ・宗教法人法
- ・櫻井圀郎「宗教活動による不法行為と宗教法人の責任」『法政論集』(名古屋大学、2013年)
- ・「宗教法人のための運営ガイドブック」文化庁宗務課

日本神話から見る古代の人々の死生観

～古代日本人の死の世界～

3年2組105班 名前 齋藤里緒 宮本結子

要旨

古代の時代にまとめられた日本神話を読み解くことで、古代の人々が生きるということ、そして死ぬということについてどのような考えを持っていたのかについて調べたい。

また、神話での神の死がどのように扱われているかを調べ、当時の人が神をどのようなものと認識していたのかを知りたい。

序論

(1)研究の目的

もともと神話などに興味があったのだが、その神話を語った古代の人々が神をどのようなものと捉え、どのような死生観を持っているのかと疑問に思い、研究することにした。

(2)調査・研究方法の概略

①『古事記』の中から死生観が反映されていると思われる「国産み神話」をピックアップし、その記述から考察を行う

②自分たちなりの考察をまとめ、その中で生まれた疑問についてインタビューで専門家の方にお話を伺う

調査・研究 ①

古事記の記述イザナキ・イザナミ伝説から見る死生観

・死を穢れと見るかどうか

➡黄泉の国に行ったイザナキ「なんとも酷く汚れた穢らわしい国に行ってしまったことよ。」禊ぎ祓いをした

・イザナミは日本を作り、神々を生み出した二柱の片割れ

➡黄泉の国でイザナミを見たイザナキが逃げ出す

＝死の穢れから生の神が逃げ出す、という構図

➡神事における「死を祀る、忌みをはらう」ことができなかったことを暗示？

➡イザナミは穢れを負ったことで「生み出す」という力が反転、黄泉の国の神となった？

・イザナキはイザナミを黄泉に迎えに行っていた

➡成功していたら蘇っていたのでは？生者も黄泉に行けるのか？

・一度死んだ神が治療を受けて蘇生したり生きたまま黄泉を訪れたりしているが、生死の境とは？

➡殯の期間が過ぎたら死ぬ＝黄泉から戻ってこれなくなる？

肉体の死から殯の期間(生死不明の過度期、蘇生可能)を経てヨモツヘグイを食べると完全な死(蘇生不可能)となる

※殯:埋葬するまでの間、仮に死体を安置しておくこと

「古事記」の性質から見る死生観

・黄泉の国、根の国、幽世、常世など名前の違う「死の国」がいくつもあつたり、死後に蘇る神や蘇らない神がいたりして、「古事記」内でも「死」の扱い方が多様であるのはなぜか

➡日本神道の始まりはアニミズムで、信仰の対象はある程度の一貫性がありつつもその細部は各集落によって異なった。

・古事記は稗田阿礼が暗唱した「旧辞」から太安万侶が何話かピックアップしてまとめたもの

➡地域ごとに異なる考えが集まった結果、「死後の世界」とされるものが「黄泉の国」を初めとしていくつも存在したり、死んだあとに蘇る神と蘇らない神がいたりするなど、死の不可逆性が曖昧になっているのでは？

(以上の疑問についてインタビューで詳しくお話を伺う)

調査・研究 ② インタビュー

Qイザナキがイザナミを黄泉に迎えに行く時、イザナキを覗き見なかったらイザナミは蘇っていたのでは？

Aそもそも現実と物語とを区別して考える必要がある

この行為は物語的な舞台装置や小道具のようなものであり、そこに死生観が現れているとは言い難い

Qヨモツヘグイが行われるまでの殯の期間に蘇生が可能である、という記述についてどう思われるか？

A殯の期間なら生き返るということではなく、魂が衰弱していたり逃げ出してしまったのなら戻ってくる可能性がある

○精神的な死が対象であって肉体的な死について対応できるものではない

Q同じ「古事記」内でも死の扱いが多様なのは、各豪族によって口承されていた異なる神話が「古事記」編纂の過程でひとつにまとめられた際に生まれた齟齬であるのか？

A死の多様性と「古事記」の成立過程は別に考えるべき

【例:死の国】

・根の国:生物がいて光がある、再生が可能

・黄泉の国:真っ暗闇で、死者は蘇ることができない

・常世の国:別に死者ばかりが行くわけではない、

海の向こうにある神の国(ユートピア的な概念?)

・高天原:天皇の魂が死後天に向かう

(by柿本人麻呂、万葉集)

○性質はかなり異なっている。

「名前の違うものは別のも」という見方もあることから、似て非なる別個の世界として考えられる(諸説ある)



結論

古代の日本人は「この世」と「あの世」との二元論的な捉え方をしていたのではなく、死後の魂の向かう先の捉え方は時代や集団によって異なる様々な形で存在し、変遷していたと考察できる

さらなる発展にむけて

インタビューで三浦佑之さんに勤めていただいた「海幸山幸」、「コノハナサカヤヒメ」など「国産み神話」以外にも範囲を広げ、『古事記』の物語としての性格と、人々の価値観は時代や文化に合わせて移ろうものだとすることを念頭に置きつつ再度考察を行う。また、今回の研究では「死」の考察が中心になったため、「国産み神話」におけるイザナミの新たな神を生み出す力や母性性に着目し、死生観の「生」の部分の考察を深めていく。

主な参考文献・調査等

・口語訳 古事記 神代篇 / 三浦佑之

・古事記注釈 第一巻 / 西郷信綱

正しいダイエット法

正しいダイエット方法とは？そもそもダイエットって必要？

3年3組 中島千尋

要旨(48pt、これ以降、表題はすべて同じサイズとします)

ダイエットと日常生活の関連性、過度なダイエットや薬を使用するダイエットの危険性を明らかにする

序論

(1)研究の目的

- ①多くの若い女性が標準体系にも関わらず痩せたいと思っていることに着目して間違ったダイエットの危険性を明らかにする
- ②ダイエットと日常生活の関係性、カロリー過多以外で痩せない原因を究明する

(2)調査・研究方法の概略

- ①インターネットでダイエットと日常生活の関連性を調べる
- ②大学教授にインタビューする
- ③文献・書籍を参考にする

調査・研究 ③

間違ったダイエットの危険性

➡SNSの投稿や誇大広告での「痩せてる＝かわいい」の深刻さ、問題の多面性

糖尿病薬を使用するダイエットの危険性

○ウーゴビ、SGLT2阻害薬(BMI制限あり、他の合併症があること、食事・運動療法で効果が得られないなど処方には厳しい条件)など
➡副作用は条件を満たす人でも起こる可能性

これらは**処方薬**➡医師から副作用の説明を受けてから摂取

健康被害➡悪心、嘔吐、下痢、脱水、性器感染症、膀胱炎
絶食+薬剤接種➡『**ケトアシドーシス**』意識不明、急性心不全の可能性

○防風通聖散➡作用機序からして体重減少効果はあまり期待できない

○サプリメント➡科学的信用のなさ、効果は限定的

プラセボ効果

結論

痩せない原因はカロリー過多以外にも様々だが健康的に痩せるには

①規則正しい生活

②食事療法・運動療法

自己判断での薬物療法は危険

・そもそも本当にダイエットが必要か 医師の判断を仰ぎ必要であれば医師の指示で行う
(医薬品も医師の処方を受けるべき)

調査・研究 ②

ダイエットと日常生活の関係性、痩せない原因

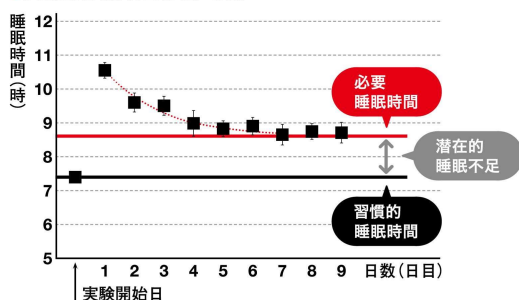
➡**睡眠時間**が血糖値・コルチゾールの数値に関係する

骨盤の歪みや冷え性の原因の一つに**運動や筋肉量の不足**

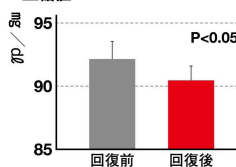
腸内細菌の日和見菌は善玉菌・悪玉菌のうち数的に大きな方に味方する、**正しい食生活**の大切さ

日常生活との大きな関係が明らかに

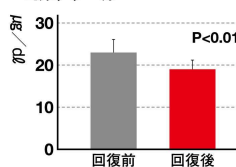
●睡眠延長試験(12h睡眠×9日)



●血糖値



●コルチゾール



さらなる発展にむけて

拒食症、過食症に関する研究
筋肉別エネルギー消費割合
脂肪がつくというメカニズム

主な参考文献・調査等

○群馬大学 北村忠弘教授

化粧によるうつ病の治療について

107班 名前 天宮 玲於奈 栗田 愛里

要旨

私たちは化粧によるうつ病の治療について考えた。まず、化粧と精神状態の関係について書籍や論文で調べたところ、化粧によるストレスの軽減や自由な自己表現が可能になることがわかった。また、メイクセラピストの方にインタビューを行い、メイクセラピーの現状や考えを知った。化粧はうつ病の完治は難しいが、治療の促進や病状の悪化防止を期待できる可能性があるかもしれない。

序論

(1)研究の目的

メイクについて調べたときに、リハビリメイクやメイクセラピーなどの化粧療法というものを知った。化粧によって人の気持ちを変化させることができるのであれば、うつ病を治すこともできるのではないかと考えた。

そのため私達はうつ病と化粧療法の関係について深く調べ、うつ病を治療できるのかどうかを明らかにしたいと思った。

(2)調査・研究方法の概略

- ① 先行研究による化粧と精神の関係を調べる
- ② 先行研究から精神疾患患者に対しての化粧がどのような効果をもたらし、また課題はあるのか考える。
- ③ インタビューを行う

調査・研究 ①

『リハビリメイク 生きるための技』でリハビリメイクによるストレスの程度を研究している。調査は、75歳から93歳の女性9名を対象にして行われた。リハビリメイクの効果は、コルチゾール値という過度なストレスがかかるほど増加する値をメイク前と後に測定することで客観的に評価する。

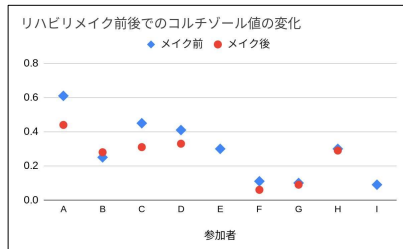


表1

表1にあるようにリハビリメイクを行ったところコルチゾール値が減少することがわかった。

この結果からメイクをすることでストレスを減少させることができるのではないかと考えた。

『リハビリメイク 生きるための技』(かづきれいこ・岩波アクティブ・2002)

慢性期の精神疾患の女性を対象に、個人面接とメイクを取入れた対人援助的メイクセラピーを施した。その結果、メイクセラピー以前の対象者は、他者の目を一方的に意識しメイクを拒否したり、メイクを行っていても自身が自己イメージとして納得できなかったことが明らかになった。しかし、メイクセラピストとの協働作業を通して、自己イメージが一致していくことで、そこからメイクでの自由な自己表現ができるようになっていたことを明らかにした。

『わが国の医療現場におけるメイクセラピーの応用に関する文献的研究』(カルデナス 暁東, 西尾 ゆかり, 福井 奈央, 田中 克子, 森脇 真一, 末原 紀美代)

調査・研究 ②

参考文献ではそれぞれ、対象者が高齢者と精神疾患の女性と異なっているものの、化粧を行うことでストレスの改善が見られたり、自由な自己表現の助長を見ることができる。この調査から化粧が対象者に心理的・生理的・社会的効果をもたらし、とりわけ、精神疾患患者には、カウンセリングが同時に実施されるメイクセラピーが彼女たちの社会性を促進し、QOLを高める効果をもつと考えた。しかし医療現場ではいまだメイクセラピーが系統化されていないことも分かった。

調査・研究 ③ インタビュー

化粧療法は実際にどのような人に、どのように行われているのかを調べるため、メイクセラピストの第一人者である岩井結美子様にインタビューを行った。

Qメイクセラピーはどのような分野で活用されているのか
A高齢者、がん罹患者、リハビリ対象者、顔に傷や火傷のある方を初めとして、自己肯定感を高めたい方にも活用されている。

Qうつ病患者に化粧療法を行うことに対してどう考えるか
Aうつ病患者に無理やりメイクをすることはできないため広めるのは難しいのではないかと考えた。化粧によるうつ病の完治は難しいが、治療の促進や進行を止めることはできるかもしれない。

メイクセラピストの方から見ても、化粧によるうつ病の治療は簡単なことではないとわかった。

結論

化粧をすることで軽度のうつ病は進行を遅らせたり、また改善させることが可能である。しかし今回の調査では化粧療法がうつ病を完治できるとまでは言い切れない。また現状重度のうつ病患者に治療をすることは難しいことが分かった。

さらなる発展にむけて

ジェンダーやマイノリティの視点で、男性の化粧に対する意識や、化粧に対する抵抗や偏見などを調査すれば、より化粧療法を広めて行く手がかりを発見できるかもしれない。

主な参考文献・調査等

調査・研究①を参照
うつ病をなおす 野村総一郎 2004 講談社

校則の重要性と必要性

108 福島菜緒 眞塩美羽 樋口なずな

規律があってこそ自由は保たれる

2023年度甲子園優勝校の慶応高校野球部の自由な姿勢の下には厳密な規則が定められていることを踏まえて、規則があってこそ『自由』は認められると見なした。そこで『規律があってこそ自由は保たれる』というRQを定め、身近な規律である『校則』に焦点を当てた。

情報共有会を経て、全国の校則との比較を指摘されたため、全国の校則をインターネット上で募っている神谷航平氏にインタビューを依頼した。

序論

(1)研究の目的

昨今ブラック校則などが話題になっているなかで、全国の学校でも校則の見直しなどが進められている。校則によって制限されない自由な学校生活に注目が集まっているが、今一度校則が果たしている役割について明らかにしたい。

私たち高校生にとって身近な校則について、校則が定められている意図や、それを変える仕組みについて検討したい。

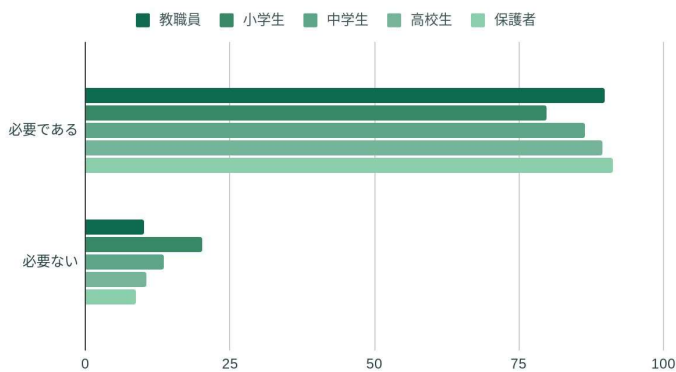
(2)調査・研究方法の概略

- ①近年の校則のあり方について調べる
- ②「自由」の定義づけを行う
- ③有識者の方にインタビューを行い、研究を深める

※高校の校則に絞って調査・研究を進める

近年の校則のあり方

学校全体の校則を児童生徒で作ったり、考えたりする必要があると考えるか？



↑ 熊本市教育委員会によるアンケート調査

上記のアンケート、インタビューを参考にすると、

- ・校則を変えるための校則を定める必要がある
- ・教員でも意見できる環境を整える
- ・生徒が校則について話し合える機会を設ける
- ・学校での規定を定めた校則は学校外の人に話を聞いて検討する

校則における「自由」とは何か

情報共有会にて、自由とはどのような状態を指すのか曖昧であるとの指摘があったため「自由」という言葉を辞書で引いたところ、次のように記されていた。

「人が行為をすることのできる範囲。法律の範囲内での随意の行為。これによって完全な権利、義務を有することになる。『ジャパンナレッジ(<https://japanknowledge.com/>)』

したがって、自由は規範の中で定められており、自由を享受するには同時に責任も伴う必要があるということがわかる。自分勝手に何でも行えるというのが自由なのではない。他人を尊重すると同時に自らの行動に責任を負うという行為が、理にかなった自由とされるべきである。

神谷航平氏へのインタビュー

・私服登校の秋田高校

学生運動が盛んだった1980年代、当時通っていた秋田高校の高校生が大学生の真似をして校則の撤廃を求めた。現在も私服登校が認められているのはその名残である。

- ・ポジリスト…してよいことが列挙されたリスト
- ・ネガリスト…禁止することが列挙されたリスト
- ⇨校則の意図を分類することができる。

・校則を見直すための仕組み

生徒が校則に異議を唱えやすい体制作りが校則を見直すために大きな意味を持つ。一つの手段としてその体制を整えるために新しい校則を作ることが考えられる。

結論

規律があることによって自由が認められるということを証明することはできなかった。また研究のテーマの特性上、適切な参考文献を見つけることができなかった。

さらなる発展に向けて

学校の中でも小中高の段階ごとや、校則の種類などに焦点を当てるなどして、他の学校との事例を比較することで、校則の必要性の検討に繋げたい。

主な参考文献・調査等

https://www.mext.go.jp/content/20210630-mxt_syoto01-000016518_14.pdf(校則・生徒指導のあり方の見直し:熊本市教育委員会)

校則のあり方

班名109 名前 周東実優、中西真唯

要旨

「多様性を尊重する現代社会において、学校生活における決まりを変えていくべきかどうか」というRQで研究を進めてきた。容姿などについて寛容になってきていて、多様性を重視すべきと謳われている現代社会において、厳しすぎる校則の緩和が重視されるべきだと考えた。

序論

(1)研究の目的

現代社会に当たり前のよう存在する”ブラック校則”を改善していくべきだと思い、研究を始めた。

”ブラック校則”は世間一般的には良くないものとして認識されているので、より改善すべきだと考えた。

(2)調査・研究方法の概略

- ①校則の存在意義について様々なサイトを調べた。
- ②校則を守る意味について調査した。
- ③ブラック校則の例をまとめた。
- ④ブラック校則の他にも改善すべき校則があるのではないかと考え、自分たちの身の回り校則について検討した。
- ⑤現代社会の多様性を重視しているにも関わらず、それが制限される校則や、曖昧な校則について専門家の話を聞きながら意見をまとめた。

調査・研究

①校則の存在意義について

文部科学省によると校則は、「学校が教育目的を実現していく過程において、児童生徒が遵守すべき学習上、生活上の規律として定められるものである」とされている。

②校則を守る意味について

多くの人が、校則を守る意味について納得する理由を得ることができておらず、下の図のような抽象的な理由で先生などから説明されていることがわかった。

【校則を守る理由】その説明はどんなものですか

507件の回答 記述式

1位	社会に出る時に困るから	109 (21.5%)
2位	校則だから	59 (11.6%)
2位	就職・進学のため	59 (11.6%)
4位	集団生活での安心・安全	58 (11.4%)
5位	中高生らしくするため	38 (7.5%)
6位	危険な目にあわないため	32 (6.3%)
7位	学校の評判・地域の目	24 (4.7%)
8位	勉強のため	16 (3.2%)
	その他	102

③、④ブラック校則について

ブラック校則とは、理不尽な校則・指導のことである。調べていくうちにブラック校則は世間でも問題視されているため、より曖昧な校則に目を向けた方がいいと考えた。

⑤専門家の方から頂いた意見

専門家へのインタビューでいただいた意見をまとめた。

調査・研究(続き)

1. 高校生という時点で教養はあり世の中の常識はわかっている前提の話なので、曖昧な表現でも生徒は理解できるからそのような表現が使われているのでは？でも、法律的な視点からの考えでは曖昧な表現はできるだけ避けたほうがよい
2. 学校では社会での常識を身につけるべきではあるので、理由がよくわからないかつ厳しいなど判断できるものは、緩めていってもいいと思う。(特に本校の眉毛や髪飾り、冬の上着指定については批判的に考えていらっしやっただ。)・眉毛に関しては、社会基準で考えたときに清潔感はあったほうがいいので、整えるくらいはokにしてもよいとのこと。さすがにガッツリメイクしてますとわかるようなメイクは(時間もかかるので勉強に支障が出る可能性があり)よくない。例えば就活時の基準などで考えるとわかりやすく説明しやすいらしい。・上着の色指定に関してはむしろ反対されていた。校則は生徒の安全を守るためにあるものなので、黒や紺など暗い色は夜道で見えづらく、安全面で問題があるので変えたほうがよい
3. 教員が校則違反な見た目をしていた場合、確かに生徒の反抗心・反感は買ってしまうが、社会人としての決まりは別に設けてあるのでそこは仕方がないかも。ただし保護者と会う際にも社会人としてあり得ない見た目をするのであれば管理職が注意指導すべき。

結論

たとえ伝統的であれ、禁止されている理由がよくわからないかつ生徒の身の安全を損なうものは変えるべきであり、生徒の自由を制限してまで守るべき安全について客観的に見直して改善していくことが必要であるという結論にたどり着いた。だが、世の中の常識を前提に適度な基準を儲けるべきだが、常識の定義がそもそもできないので、明確に定義することは難しい。

さらなる発展にむけて

世の中の常識を前提に適度な基準を儲けるべきで、明確に定義することは難しい。また、たとえ伝統的であれ、禁止されている理由がよくわからないかつ生徒の身の安全を損なうものは確実に変えるべきだと思う。生徒の自由を制限してまで守るべき安全について見直して確実に改善すべき。

主な参考文献・調査等

インタビュー・兵庫教育大学 神内聡教授
文部科学省より一部引用
その他ウェブサイト

教育による国民性形成

110班 3-1平尾優奈 平田奏結 3-3須永結衣

何によって「国民性」が形成されるのか知るべく、教育にフォーカスし国ごとの授業スタイルとそれぞれの国民性を調べた。研究結果を可視化するためグラフを作成した。なおグラフ作成の際は縦軸を「協調」「競争」、横軸を「自由」「厳しい」の4つの項目に分けて各国を配置した。その結果、各国に「国民性」といえる明確な性格の違いがあることがわかった。その結果、全てが教育制度の違いによるものとは断言できないが、各国の教育制度にはそれぞれ特色があり、それに対応する性格の特徴が現れていることが判明した。

序論

(1)研究の目的

まず、国民性形成を考えるに当たり、「気候」「地形」「教育」に分けて考えようとした。しかし、参考文献の不足から、「気候」「地形」を断念し、「教育」にフォーカスすることにした。先行研究で、米・英・仏の学校ではそれぞれ異なる教室配置があること、性格には少しずつ違いがあることがわかったため、さらに多くの国々の授業スタイルと性格を調べ、国民性が形成されるプロセス(教育)を比較する。

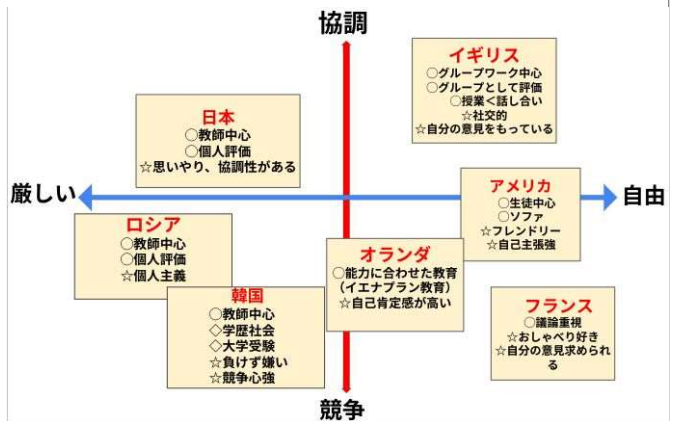
(2)調査・研究方法の概略

- ①:各国の教育制度を相違点に着目して調べる
- ②:各国の国民性について先行研究を参考に調べる
- ③:①と②で調べた情報の相関関係を見て、グラフにまとめる

調査・研究 ②

調査・研究①で各国の学校教育の特徴と性格の特徴に違いがあることがわかった。より詳しく調べるために、小中学校時代6か国(アメリカ・カナダ・イギリス・フランス・ロシア・日本)の教育を転校により経験した方の本を読んだ。そこでわかった新たな特徴を再度まとめ、座標にまとめた。

調査・研究 ③



調査・研究 ①

①に関する研究の詳細を書く

	学校	性格
韓国	大学入試=戦争 日本と同じ 学歴の色濃い	上下関係がはっきりしている 家族を大切にする 競争心が強い、負けず嫌い
オランダ	自由 公立=独自のメリット 子供の能力、理解度に合わせた教育	ケチ 個性や意見を尊重する 人生大切 自己肯定感高め
ロシア	グループワークしない 規則がはっきりしている	個人主義 時間にルーズ
イギリス	テーブルごとに評価 (グループワーク多め)	協調>競争 あまり悩まない 社会性 意見をはっきり持っている
アメリカ	授業がリラックスしてできる 教師とのコミュニケーション多め	フレンドリー 自己主張強め ポジティブで楽しいことが大好き
ドイツ	挙手すること重視 飲食OK-自由	ルールに従う 勤勉

学校の教育制度は各国によって明らかな違いがあることがわかった。ロシアのようにルールや規則が厳しい国では「個人主義」などの特徴が現れている一方で、アメリカやイギリスのようなコミュニケーションが取りやすい環境が整備された国では、「社会性がある」や「意見をはっきり表明できる」などの特徴が現れていることから、学校の教育制度とそれぞれの国民性との間には正の相関関係があることがわかった。

「日本人の国民性調査」- 社会調査研究のある最前線

坂元 慶行

○と△は正の相関があることがわかる
みたいな感じで調査・研究①についてまとめる

結論

各国には「国民性」といえる明確な性格の違いがあることがわかった。その全てが教育制度の違いによるものとは断言できないが、各国の教育制度にはそれぞれ特色があり、それに対応する性格の特徴が現れていることが判明した。

さらなる発展にむけて

今回の調査で各国の教育制度の違いとそれぞれのメリット・デメリットを知ることができた。今後は日本でどのような教育制度を取り入れるとさらに日本が発展できるかを「現在の日本の教育における問題点」などの研究をすることで調査し理解を深めたい。

主な参考文献・調査等

<https://www.cer.or.jp/>
<https://doi.asahi.com/dot/photoarticle/2018111500048.html?page=1>

心理的観点をふまえた再犯防止について

111班 名前 金井さくら 荻原実季

要旨

日々の生活の中で犯罪に関するニュースが報道されない日はない。そのくらい、国内だけでも数え切れないほどの犯罪が起こっている。それでは、なぜ犯罪は減らないのか。なぜ犯罪を犯してしまうのか。それらについて心理的観点から調査・考察した。調査では、犯罪率は下がっている一方で再犯率が上昇していることに気付いた。そこで、特に再犯率の高い犯罪について更に深く調べ、それぞれの特徴を捉えるよう努めた。また、再犯防止のために行われる長所基盤モデルやリスク・ニード・反応性モデル、犯罪者の社会復帰に興味を持ったため、駿河台大学・古曳牧人様にご協力いただき、再犯防止には居場所の提供や自尊心の喪失防止などが欠かせないという結論に至った。

序論

(1)研究の目的

ニュースで犯罪が絶えず起こっているのを見て、犯罪を他人事にならず、現状を知るべきであると考えた。犯罪を犯す原因を調べ、犯罪を減らすための取り組みを考えたい。

(2)調査・研究方法の概略

- ①犯罪についての現状をインターネットで調べる。
- ②①で分かったことを踏まえ、再犯率の高い犯罪について調べる。
- ③②で気になったことをもとにインタビューを行い、再犯防止に必要なことは何か考える。

【再犯率の高い犯罪】

①窃盗

クレプトマニア...物を盗みたいという衝動により窃盗を行う
治療⇨精神科、心療内科の診察が中心
↳本人が診察を嫌がる、家族に言えない

②違法薬物

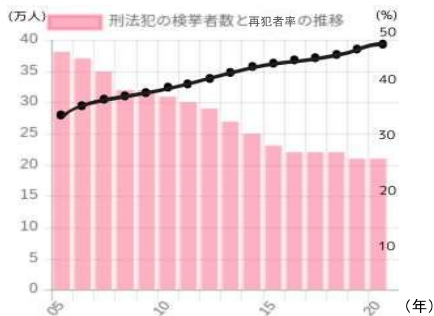
薬物乱用者⇨ほとんどが薬物依存の問題を抱える
医療・保健・福祉機関の数が不足
⇨治療や支援を受けた薬物乱用者はわずか
⇨人員不足を補うのは難しい

③詐欺

コンプレックスがトラウマ⇨自分を理想化したい
先を考えない⇨嘘をついてその場をしのげばいいと考えてしまう
他人の気持ちを理解できない⇨責任感や罪悪感がない
⇨気持ちが支配されている

調査・研究 ①

- ・初犯数(↓棒グラフ)は減少しているが、再犯者率(↓折れ線グラフ)は上昇している。
- ⇨相対的に犯罪率が上昇している。



参考
「読売新聞オンライン」2021/12/24
「令和3年版犯罪白書」法務省

【考察】

再犯を防止することが犯罪率を低下させることに繋がるのではない。

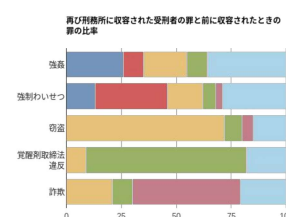
調査・研究 ③

- 長所基盤モデル: 長所を伸ばし社会的役割を認識
- リスク・ニード・反応性モデル: 再犯リスクに応じた処遇
- ⇨両者は対照的だが、両立させなければならない
- 犯罪者の社会復帰を支援する人がいる一方でそれを否定的に捉える人も
- 犯罪者に対する否定的な考えを変えることは難しいが、両者が折り合いをつけることはできるのか?
- ⇨インタビュー(駿河台大学・古曳牧人様)
- 犯罪から立ち直った姿勢を示すことで社会から信頼を得ることが重要
- 犯罪の原因は重層的・複合的
- 犯罪の要因自体を改善させることはどのくらい可能?
- ⇨インタビュー(駿河台大学・古曳牧人様)
- 犯罪誘要因論家庭・学校・職場よりも反社会的要素誘因が多い
- 反社会的勢力に繋がらないように対策を行うことなどが重要

結論(再犯防止のために必要なこと)

- ①犯罪から立ち直ることに焦点を当てていくこと
- ②居場所をつくり、犯罪に結びつかないようにすること(家庭・学校・職場・交友関係などにおいて)
- ③自尊心がなくなってしまう前に対策を行うこと

調査・研究 ②



参考
「再び刑務所に収容された受刑者の罪と前に収容されたときの罪の比率」産経新聞

・犯罪者は、過去に逮捕された罪状と同じ罪で逮捕されることが多い、と考えられる。

⇨ 調べること

・同じ犯罪を繰り返す原因は何か。

・犯罪者更生施設や保護司の人手不足を踏まえ、犯罪者の社会復帰には何が 필요한のか。

さらなる発展にむけて

医療・保健・福祉機関の数が不足

- ⇨治療や支援を受けた薬物乱用者はわずか
- ⇨人員不足を補うのは難しいため、効率の良いプログラムが必要
- ⇨現状を詳しく調べ、具体的にどのような対策が必要なのか調べる必要がある。

主な参考文献・調査等

- ・医療法人社団裕和会大石クリニック
「クレプトマニア(病的窃盗)とは」
- ・政府広報オンライン
「再犯を防止して安全・安心な社会へ」

美術

112 勝見花(3112) 品川陽々稀(3118)

要旨

フェルメールの有名な絵には、スリークォータービュー(人物が斜め45度の角度で描かれる)が共通して見られる。これにより、鑑賞者に対して自然で親近感を与える構図が生まれる。さらに、柔らかな光の演出や、限られた色調の中で青や黄色が印象的に使用され、画面全体に落ち着いた調和をもたらしている。また、背景の簡潔さが人物や静物の存在感を際立たせ、作品に静謐な雰囲気を与えていることも特徴。

序論

(1)研究の目的

フェルメールは「真珠の耳飾りの少女」「少女」という作品の大きさ、雰囲気、構成の類似からした二枚の少女の絵を描いた。しかし有名で一般によく知られているものは「真珠の耳飾りの少女」のみ。

ではなぜ「真珠の耳飾りの少女」の方がよく知られている＝評価を受けているのだろうか。

(2)調査・研究方法の概略

フェルメールの「真珠の耳飾りの少女」と「少女」を色や構図などでくらべてみる。

調査・研究

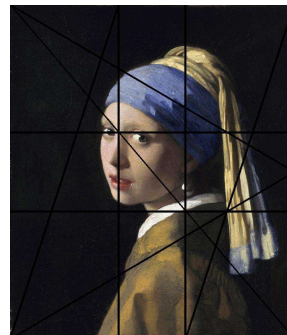
評論家、一般論、などを調べることによって、絵の評価という観点において重点が置かれているものが分かるのではないか。

フェルメールの評価についての大きなきっかけとなるのは1866年美術評論家トレ＝ビュルガーが美術専門誌『ガゼット・デ・ボザール』にフェルメールについての本格的な論文を発表したことによるもの。それまでフェルメールの名前は一部の美術愛好家にしか知られていなかったが、この論文によって広く知られるようになった⇒**評論家の評価から始まり一般へと広まる**
もちろんフェルメールの絵の魅力ゆえにトレという評論家の目に止まったものの、もしこのような契機が無ければ、今現在の評価は生み出されなかったかもしれない。

また、作品の見た目の面ではなく学問性と新規性が大きな価値となり評価に繋がった例では、コメディアンという壁にバナナをダクトテープで貼った作品がある。この作品に使用されたバナナとダクトテープ自体に意味があったのではない。実際別のアーティストに食べられてしまったあと、ギャラリーは別のバナナをすぐ壁に貼り直した。つまり彼の作品は「バナナとテープ」といった表面的な部分が主役なのではなく、目に見えないコンセプトの部分で成り立っている作品
⇒**見た目の評価ではない**

調査 ②

黄金分割 黄金三角 対角」線が入った図によって、焦点となる目と目の間に黄金分割と黄金三角の交点がある事がわかり、比率の面で考えてみても、全体的にバランスの取れた絵になっているということが読み取れる。



調査・研究 ③

- ・対象物が中心に寄っているか否か
- ・顔の向き具合
- ・人物部分と余白部分の比率
- ・2つの絵の色

などの点を比べることによって、右下の図でも分かるように様々な異なる点が見られる。構図の面ではスリークォータービューが使われており、意図的にきれいにみえるようになっているようにも感じる。色の面では明彩や明暗のギャップによって同じ題材でも全く違う味方がされることもあると気付いた。

構図で比べる



色で比べる



結論

絵画に工夫が施されており、人間が好意的に感じるような要素が含まれていると分かったけれど、画家が意図したものであるかは分からない。
また評価が絵自体と完全に結びついているというわけでもない。

さらなる発展に向けて

絵画について研究することによって、絵画に施されている工夫だけでなく、人間にどんな特徴があるのかなど無意識のうちに行っている癖などに気づくことができた。絵画だけでなく、人間について調べることも評価を受ける絵画を書くことにつながるのではと考えた。

主な参考文献・調査等

Why Do We Still Find Vermeer So Fascinating?
by artreview.com

Thinking about Portraits 3: Three Quarter View
by Jo Hall

日本における英語教育をどのように改善していくべきか

113班 高橋彩水、三上鈴歩、吉田玲奈

要旨

日本は、先進国の一つであるにもかかわらず英語能力の低い国であると見なされている。そこで、その所以を日本の英語教育に見出し、またどのように改善していくべきかについての研究を行った。まず、クラスの人(32人)に英語をどれだけ身近に感じているかを図るアンケートを行い、その結果から、教育の場において英語を話す機会が少ないのではないかと仮説が立った。次に、英語能力が高いとされるフィンランドの英語教育学を専門とする関西学院大学の米崎里准教授にインタビューを行い、日本の英語教育との比較を行った。すると、日本では基本的に一人の教師が多くの生徒に対して授業を行うため、フィンランドと比べて生徒一人ひとりに細やかな指導、発表などの機会が及びづらいこと(このことが英語を人前で話す機会の欠乏に繋がると考えられる)、また教科書が薄い分学習のプロセスが少なくなっていることが分かった。以上のことから、日本の英語教育を改善するためには環境から変えていくべきであるという結論に至った。

序論

(1)研究の目的

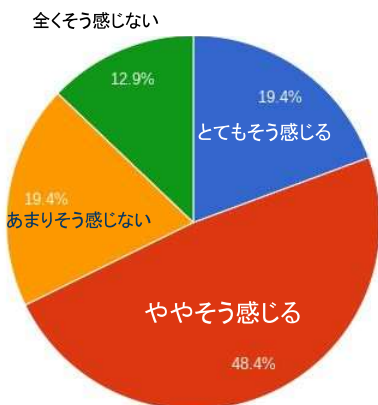
日本において、英語はコミュニケーションツールというよりも受験勉強や資格取得など社会に出ていくために学ぶ暗記科目であるという意識が根底にあり、実際に世界共通言語である英語を用いて国際的に活躍するという本来の英語学習の目的から外れてしまっている人が多くいるのではないかと考えた。受験や資格に向けて学習することで、英語の読み書きの能力を主に培うことができるが、現在の日本では英語を話すことのできる人の割合は10%にも満たない事がわかっている。そこで日本の英語教育の真のあり方を追求するために研究を行うこととした。

(2)調査・研究方法の概略

- ①アンケートを実施し、日本の英語教育の問題点を挙げる
- ②他国と英語教育の比較を行い、改善点を見出す

調査・研究 ①

EF EPI英語能力指数(2023年版)において日本が先進国であるにも関わらず「低い英語能力」(113カ国中87位)の国であることを受け、クラスの人(32名)に「英語を話すとき発音良く話すことが恥ずかしいと感じるか」というアンケート調査を行った。このアンケートは、英語を話すということをどれだけ身近に感じているかを図ることを目的としたものである。私達は、英語を発音良く話すことが恥ずかしいと感じる気持ちが強いほど、英語を話すことに抵抗がある、すなわち英語を話すことを身近に感じていないと見なすことにした。結果は下図の通りである。日本が英語能力の低い国とされる原因を日本の英語教育に見出すことを目標とする今回の研究において、アンケート結果が下図のようになったのは、日本の英語教育の問題点の一つが、英語を「話す」機会が少ないことであると考えた。



調査・研究 ②

調査①のEF EPI英語能力指数の高い国での英語教育はどのようなものかを詳しく知るために、フィンランドの英語教育学を専門とする、関西学院大学 米崎里准教授にインタビューを行い、下記の内容を得た。

(以下、フィンランドをF、日本をJで表記している)

(1)授業内容

F:【小中学校】語彙や文法を固め、ゲーム感覚で演習を行う。様々な言語能力レベルに対応した内容。

【高校】ディスカッション・アウトプット中心。教科書の内容が濃い。教師+補助教員の手厚いサポートがる。1クラス10~20人ほどの少人数授業。暗記<理解

J:【小中学校】慣れ親しむため、基礎的な単語・文法を学ぶ。

【高校】単語・文法から学ぶ。授業プリントを活用。教科書ページ数に制限があり、内容の充実さに欠ける。1クラス30~40人ほどの大人数授業。暗記>理解

左:日本の中学校教科書(3年分)

右:フィンランドの中学校教科書(3年分)



(2)教員のイメージ、仕事内容

F:社会的に地位が高く人気が高い。修士課程で実践指導力を備えるため優秀。教科書から扱う内容を抽出するのみ。

J:負担が大きく厳しい。授業プリントの作成など準備が大変。

(3)環境

F:EU加盟国なこともあり英語の社会的地位が高い。英語以外の学習選択肢もあり、外国語に対するモチベーションが高い。

J:普段から英語に触れる機会が少なく、ALT(ネイティブ)のように話せるようにならないければという使命感がある。

(4)英語を学ぶ意義

F:国内の大学が少ないので競争率が高いが、英語を使えるようになることが主な目的

J:大学受験、英語技能検定に合格することが主な目的(合格したら終わり)

結論

日本の英語教育は、まず学習環境から改善すべきである。少人数クラスにすることで一人ひとりに教員の目を行き渡らせたり、教科書の内容をフィンランドのように濃くすることで教員の負担を減らして学習のプロセスを増やすなどが有効だと考えた。ただ、国レベルではなく自分たち学生が主体的に実行できる効果的な改善方法はわからないままとなってしまった。

さらなる発展に向けて

学生自身が英語教育の問題の解決に向けてすべきことを見出し、学生が意欲を持って主体的に英語の学習に取り組むことができるような解決策について考察を深めたい。

主な参考文献・調査等

<https://englishfactor.jp/media/online/5g/>

<https://www.efjapan.co.jp/epi/>

関西学院大学教育学部 米崎里 准教授 インタビュー

『フィンランド人はなぜ「学校教育」だけで英語が話せるのか』著・米崎里 株式会社亜紀書房

民族料理と帰属意識の関わりについて

114 細川すみれ 松本恵里花

人々がまとまり、その集団の中で慣習が生み出される中で民族料理は形成されてきた。民族内の帰属意識は様々な要因により高まるが、現代の民族料理の普及度を世界の地域別で考えると、民族料理が普及している国ほど民族としてのまとまりが強いと言える。このことから、民族料理が民族の帰属意識を強める効果があると考えられる。しかし、民族料理の普及の高さには貧困率や移民などの要因が関わっているため、民族料理と民族の帰属意識の関係を断言することはできない。

序論

(1)研究の目的

東南アジアの食文化は、植民地時代に伝わった欧米の文化や、地理的環境の要因によって形成されていることが先行実験によって明らかになった。特にタイでは、地域ごとの料理の特色の違いが目立ち、貧しい地域では民族料理の多様性が見られた

(2)調査・研究方法の概略

①所得と民族料理の普及

②

どのような手段で研究を進めたか。ここでは簡単な言葉でまとめておく。次のマスそれぞれの詳細を書く

例:①所得の高低が生活での民族料理の浸透具合に影響するのかわかる

②所得と料理の関係についてさらに詳しく調べる

立命館大学の安井大輔教授へのインタビューとインタビュー内容から自分たちの考えを考察する

調査・研究 ①所得と民族料理の普及

日本 4,212,944 単位百万US\$

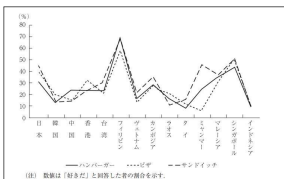
インドネシア 1,371,171

マレーシア 415,569

タイ 514,945

ミャンマー 64,496

国別名目GDPランキング(global note・国際統計・国別統計専門サイト・2023)



・所得が低い国は、ファストフードなどの画一的な食文化よりも、自国の伝統的な料理の方が普及しやすい

↓

インドネシアでは民族料理が普及しているが名目gdpは高い

グラフ①から

東南アジアの多くの国では、ハンバーガーなどのファストフードの人気がなく、文献調査からインドネシアなどの東南アジアの国々の人の生活では、民族料理が日常的に食べられていることがわかっていく

↓

この原因に生活に民族料理が浸透しているかどうか関わっているのではないかと

民族料理は、共同体での慣習や伝統が生まれてくる中で、地理環境に合わせて少しずつ形成されてきた

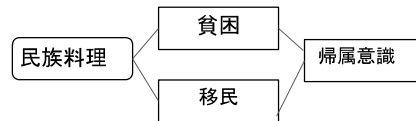
↓

つまり、民族のまとまりがある程度できたあとに民族料理が生まれてきたといえる

民族料理は民族のまとまりを強化する役割を果たしていると考えられる

調査・研究 ②

安井大輔さんの参考文献を参考に、民族料理とエスニシティの関わりを調査した



この調査から、民族料理の普及には複数の因子が関係しており、因子を一つ一つで結びつけて考えることは難しい事が分かった。

調査・研究 ③ インタビューより

発展国と途上国での民族同士の結びつきが異なる原因

私達は、必然的に他人と一緒にいる・一緒にいらざるを得ない状況にいる。だが、その他人との集団から出ていくためには経済的な面で自立する必要性が出てくる。

各々が育った環境が、労働環境が充実した社会であった場合には、自身でお金を稼ぎ、集団から移動する事が可能になる。これがグローバル化である。グローバル化した社会では、発展国の間で人・物の流通が盛んになり、国ごとの民族的なまとまりは薄まっていく。しかし、途上国では自給自足が基本的であり、農業が生活の基盤となる。農業では集団作業が必要となり、ここでも必然的に集団としての結びつきが強まる。移動せず生まれ育った場所で集団で生活することで自集団のアイデンティティが構築されるのである。

→民族料理と帰属意識の関係を証明、発展国と途上国での料理の民族性の差に結びつけられるのではないかと

結論

民族がまず存在した上で、地理的環境・貧困などの要因によって民族料理が形成されていったことが言える。そして、民族料理は民族の帰属意識をさらに強める働きがあることが言える。

しかし、数字的証拠を出せず、説得力のない結論に至ってしまった。また、それを実際に東南アジアの民族にあてはめて言い切れることはできなかった。

さらなる発展に向けて

民族ごとの「帰属意識の強さ」「貧困率」「食への嗜好性」がそれぞれ数字で可視化された証拠を調査すれば、3観点の因果関係を証明することができる。

主な参考文献・調査等

・世界の食文化4 ベトナム・カンボジア・ラオス・ミャンマー 著:森枝卓士

・世界の食文化5 タイ 著:山田均

・食嗜好と移民のアイデンティティ 安井大輔

・人種とエスニシティ 安井大輔

日本語と外国語の比較

班名115 名前 高田あかり 宮下結衣

要旨

学校では英語以外の外国語に触れる機会がないため、日本語を基準に英語以外の外国語について調査した。最初に日本語の語順に注目し、日本語には助詞があることで語順に柔軟性が生まれると考えた。日本語の助詞は4種類ありそれぞれに役割があることがわかった。これだけでは不十分と考えインタビューを行い文字体系と母音という視点を得た。これらの調査から日本語に似た特徴を持ち日本人が、学ぶのにハードルが低いと考えられる言語についてまとめた。

序論

(1)研究の目的

私たち高校生が学んだことがある言語が英語がほとんどだろう。しかし世界には様々な言語があるはずだ。そこで私たちは日本語の特徴を捉えたうえで外国語について研究した。この研究を通して言語を学ぶ際に意識すべき点が見えてくる。

(2)調査・研究方法の概略

- ①語順に注目した日本語と外国語の比較と日本語の助詞についての調査
- ②助詞に注目した言語の分類
- ③インタビューとインタビューを受けた調査

調査・研究 ①

まずは、外国語と比較した日本語の特徴として語順について調査した。調査に用いた言語はアラビア語と英語、日本語である。ここでは、主語をS、動詞をV、目的語をO、補語をCと表す。

アラビア語

アラビア語の文章は名詞文と動詞文に分けられる。名詞文は動詞がない。動詞文の語順は基本的にVSOである。

英語

英語の基本的語順はSV・SVC・SVO・SVOO・SVOCの5つがある。語順は文における要素の優先順位でもあり、主語は最重要要素である。助詞を持たないため、語順には厳格である。

日本語

日本語の単語のうち名詞は、いわゆる性・数・格の観念を表わさず、格は、あとにつけられる助詞の違いによって明示される。助詞は英語などにおける名詞の格変化、従属接続詞、一部の副詞の用法を務める以外に広く前置詞の役割をなす。

次に、語順の柔軟性を決める助詞について調査した。助詞は、格助詞・接続助詞・副助詞・終助詞に分けられる。

格助詞

主に名詞について、その名詞と他のごとの意味関係を示す。

接続助詞

従属節の述語となっている動詞・形容詞・名詞について、主節との意味関係を示す。

副助詞

さまざまな語について、特別な意味を付け加える。

終助詞

主に文末に現れ、話し手から聞き手への伝達に伴う態度などを表す。

調査・研究 ②

助詞に注目した言語の分類を調査した。

膠着語・・・言語類型論的分类の一つである。単語が中核となる形態素に接頭語や接尾辞が付加されて構成されるという特徴を指す。

例:日本語 韓国語 モンゴル語 トルコ語 ハンガリー語

調査・研究 ③

この調査では不十分だと考えたためインタビューを行った。インタビューを通して、言語を学ぶうえで母音の数と文字体系が重要であるとわかった。日本語は母音が5音であるのに対し英語は地域差などもあるが、最低14音であり日本人にとって英語は発音するのが難しい。文字体系は、新たにアラビア語のような使い慣れない文字を学ぶよりは使い慣れているアルファベットのほうが学びやすい。

<アルファベットを使う言語の例>

英語 トルコ語 インドネシア語 フィンランド語 ハンガリー語

<母音が少ない言語>

トルコ語 フィンランド語・・・8音

インドネシア語・・・6音

結論

日本語は助詞がある膠着語であり、主語・目的語・動詞の語順、母音が5音と少ない言語である。また、日本の学校では英語も教えられているため、アルファベットを書くことに対するハードルは低い。そのため、膠着語であり、母音が少なく、アルファベットを使う言語が日本人にとって学びやすい。これらの要素を満たす言語として、インドネシア語、フィンランド語、トルコ語などがある。

さらなる発展にむけて

実際に外国語を学ぶときに定着しやすくなり、言語を使えるようになる方法について調査しこの研究と組み合わせることでより実用的な調査になる。

主な参考文献・調査等

はじめてのアラビア語(宮本雅行)

英語感覚が理屈でわかる読むための英文法(久保聖一)

国語学大辞典(東京堂出版 昭和55年)

世界大百科事典(平凡社 1998年)

<https://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/ja/gmod/contents/explanation/052.html> (東京外国語大学)

吉富 朝子教授(東京外国語大学)

ファッションとプリクラから見る流行の変化

2年 1組 116班 名前 町田梨心 山岸沙羅

要旨

女性の理想像の変化は何によって引き起こされているかというRQを検証するために調査①～③を行った。まず①では時代ごとに流行したファッションを調べて年表にし、参考文献と合わせて流行の原因と傾向を調べた。次に②では、ファッションに限らず、若者の中でどのように流行が広がっていくのか、参考資料のグラフを元に考察した。③では、①、②で分かったことを裏付ける根拠を得るために、フリー株式会社にてインタビューを行った。これらの調査によって、「女性の理想像は、有名人から影響を受けていたが、時代が変化するにつれて、多様化してきたと考えられるが、多様性の数値化はできなかった。」という結論に至った。

序論

(1)研究の目的

時代の流行ごとに女性の理想像を調べ、理想像の変化は、何によって引き起こされているのかを明らかにする。

(2)調査・研究方法の概略

- ①1950年代～2020年代まで、時代ごとに流行したファッションとその要因について調査し、変化の原因を考察する
さらに、服を購入するときの重視点を調べる
- ②流行の広がりの要因を調べる
- ③プリクラについて企業にインタビューを行う

調査・研究 ①

1.昭和の中期(1950年代)～平成後期(2019)にかけて流行した代表的なファッションやメイク、文化について、10年ごとに分けて調べた。

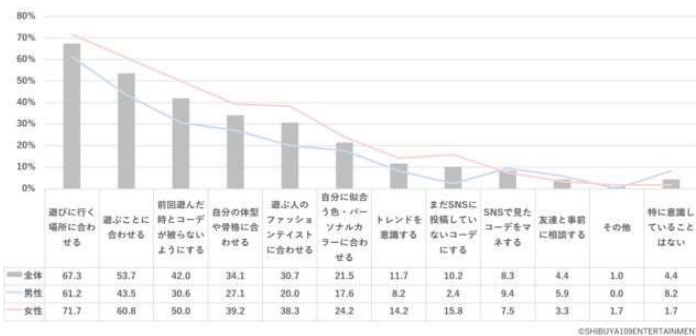
作成した10年単位の表から気づいたこと

・昭和期から平成中期にかけては、流行したものやその時代を代表する著名人や雑誌、モデルが存在している傾向があったが、平成後期から令和初期にかけてはそのような存在は少なくなっている。

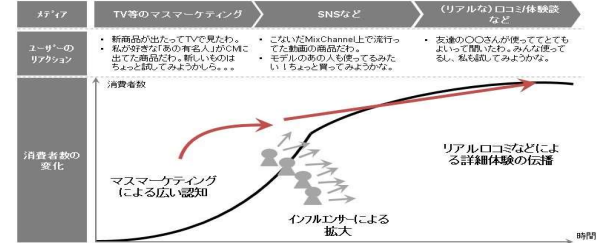
2.「時代が進むにつれてファッション系統が多様化してきた」という考察の根拠を得るために、若者(15～24歳)の服を買う際の重視点と参考にしているものについて調べた。

・重視点は1位「遊ぶ場所に合わせる」2位「遊ぶことに合わせる」4位「自分の骨格に合わせる」となっている。
・参考にしているものはInstagram「83.4%」tiktok「33.7%」雑誌「22.4%」テレビ番組「12.2%」となっている。

上記2つの根拠から、トレンドよりも自分の目的や好みを重視し、テレビでの著名人の服装よりも、様々なロールモデルが存在するSNSを参考にしている人が多いと考えられる。



調査・研究 ②



<https://www.donuts.ne.jp/news/2016/0926-mixchannel-media-report/>
株式会社Donuts 2016年 流行を生み出すプロセス
このグラフから、テレビや有名人、インフルエンサーの影響によって、流行が拡大していることがわかる。

調査・研究 ③

結論を裏付けるために、フリー株式会社・広報部の村上さんにインタビューを行った。

①Q.トレンドやニーズの分析方法を知りたい

A.週に一回以上女子高生を招いて、グループインタビューを行い、企画者自身が女子高生の感覚をもって商品づくりを行うために、女子高生と企画者の感覚にずれがないかを確認している。

②Q.メイクにも結論と同じような現象が起きているといえるか 意見を聞きたい

A.いことができる。1990年代～2010年代はあこがれの人が皆同じで、時代を象徴する人がいたが、最近では、自分に合うメイクを追求したいという人が増えた。"あこがれのその人になりたい"という意識から、自分に合う人を目指るとするような変化が起こっているとも言うことができる。

結論

女性の理想像は、影響力を持つ少数の有名人から影響を受ける傾向があったが、時代が変化しSNSなどが普及するにつれて多様化してきたと考えられる。ただ、多様性を具体的に数値化することはできなかった。

さらなる発展にむけて

・過去の雑誌を集め、系統名の個数を調べたり、化粧品の色のバリエーションを時代やメーカーごとに分けて調べることで多様性を数値化する。

主な参考文献・調査等

- ・SHIBUYA109 lab./<https://shibuya109lab.jp>
- <http://www.inabalab.net/>
- ・多様性の時代における流行の生産と消費
<https://www.donuts.ne.jp/news/2016/0926-mixchannel-media-report/>
株式会社Donuts 2016年 流行を生み出すプロセス
- ・<https://lamire.jp/142327> →「lamire」2019.4.1
- ・<https://note.com/oishiran/n/n8845e83538b4>
→「no+e」2020.9.26 平成ガールズサマリー/コギャルからインス タグラマーまで

色とイメージの関係

～色イメージは人間の心理にどう影響しているのか～

3学年・3組・班名117 名前 高橋里帆 米田愛琉

要旨

アート作品において、作者の性格や心情、当時の時代背景などは作品に使われる色と深く関係がある。そこで、色によって異なるそれぞれのイメージを調べ、色と人間の心理がどのように関係しているのか、そしてその関係が色彩心理学としてどんな場面に活かされているかを調査する。また今後、新たにどのように活かしていけるか考察する。

序論

(1)研究の目的

アートに使われている色は色のイメージに基づいて、色のイメージに沿った出来事・意味・心情・筆者の人生観などが表されているのではないかと考え、色のイメージと心情の関係について興味を持ち、研究していきたいと考えたため。

(2)調査・研究方法の概略

- ① 心と色の関係をアートを通して、調査する
- ② jam boardでコーポレートカラーについて調査する
- ③ 企業のロゴを調査し、色と心情の関係が日常生活や社会にどのような影響をもたらしているか調査する。

調査・研究 ①

『「心を伝える配色イメージ」P.158.159より 感情表現の基本色』を参考資料とし、作品を「人物・絵が書かれた時代の出来事・技法・作品への思い」などの視点から詳しく調べた。

・パブロ・ピカソ 青の時代 「La Vie(人生)」1903年

・ジェシー・ミシェル・バスキア 自画像 1982年

作者の背景と作品に用いられている色の意味が一致し、色のイメージに基づいて、描き、表現されているとわかる。



調査・研究 ②

日常生活や社会にどのように生かせるのだろうかという点で色のイメージと心情との関わりについて調査した。

日常的に私達が目にする企業のロゴを対象として、調査を実施した。食料と保険の企業を例として、ロゴを提示したものが以下のものである。

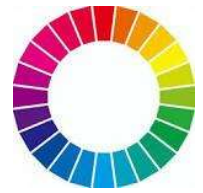
私達が調査した情報をもとに考えると、緑:安心、青:信頼、赤:あたたかみを意味する。そのため、保険会社や食品会社などは視覚的観点から消費者にメッセージを伝えている。

赤	熱い 情熱 怒り カジュアル 興奮 アクティブ パワフル
オレンジ	親しみやすい、活発 おおらか 食欲 喜び 温かい 家庭的 温もり フレッシュ にぎやか ポジティブ
黄	明明 躍動 活発 軽快 注意 嫉妬 活気 希望 前向き 明るい 陽気 エネルギー なごやか 好奇心
ピンク	萌え 楽しさ 子供っぽい 愛情 優しさ 愛 恋 可愛らしい 感謝
水	冷たい 涼しい 清たい 集中 爽快感 清潔 クリア 清潔感
青	安全 憂鬱 孤独 静寂 清潔 若い 爽やか 平和
紫	知性 上品 気品 攻撃的 厳粛 優雅 神秘
緑	さわやか 穏やか 平穩 健康 やすらぎ

この調査から、色が心理に影響を与えていることがわかったため、更に詳しく色彩心理について知るべく、広島大学 森田愛子教授にお話を伺った。

調査・研究 ③

調査・研究②より、色イメージがマーケティングに利用されていることがわかった。他にどのように利用されているかを更に調査する。そこで色彩心理学を研究している森田愛子教授にインタビューを行った。



①色の活用例

- ・ヒューマンエラーを予防する
- アフォーダンス知覚を促す効果

②色の「誘目性」について

- ・色の明度と彩度が共に高いほど誘目性は高くなる
- 赤や黄色などは、危険を知らせる標識などに使われる
- ・文化的体験や個人の体験にも深く影響を及ぼす

③日本と海外の色イメージの違い

- ・国の文化や歴史などにより好まれる色が異なる
- 青は日本で食欲減退色であるが海外では受け入れられている

結論

昔のアート作品から色と心情は密接な関わりを持っていることがわかった。そして、現在、色彩心理学としてマーケティングの場やヒューマンエラーの予防等に利用されている。よって、色と心理の関係性は私たちの生活を大きく支えていると言える。

さらなる発展にむけて

企業のロゴや標識など、日常生活に関わりのある場面で用いられる色は海外と日本でどのような違いがあるか、そしてその理由などを調査する。そして、海外で色がもたらす影響を日本の企業で取り入れることで、さらに国際化が進んだときに海外の人に寄り添った取り組みを実施することができるようになるなど活用方法を考察できる。

主な参考文献・調査等

- ・インタビュー 広島大学 森田愛子教授
論文「イラストの色が味覚に与える影響」
「教科のイメージカラーが行動に及ぼす影響」
- ・「心を伝える配色イメージ」
P.158.159 感情表現の基本色

学校でのBGMの活用について

118 青木琴羽 鎌腰あいか

要旨

BGMを学校で利用することでより良い校内環境をつくるのが出来るのではないかと考えた。様々な先行研究や文献を調べた。そして内容ごとに分類し、それをもとに考察した。その結果、BGMは騒音の遮蔽に効果があることや購買意欲に影響を及ぼすことがわかり、自習室や購買などでの活用を考えた。しかし、個人差や設備、誰が流すのかといった問題点に気付いたことにより学校でのBGMの活用は厳しいとの結論に至った。

序論

(1)研究の目的

BGMに関する研究は数多く存在する。そこで、BGMを学校で利用することで、より良い校内環境をつくるのが出来るのではないかと考えた。

(2)調査・研究方法の概略

- ①BGMに関する文献を調べる。
- ②文献を読み、「歌詞」「テンポ」など内容ごとに分類する。
- ③調べた情報をもとに考察する。

調査・研究 ①

(1)作業の種類によって快適なテンポがあり、それを越えたテンポの速さではミス誘発
(2)すべての作業において、テンポが速くなると作業効率が上がる訳ではない
「BGMのテンポの違いが作業効率に与える影響」阿部麻美・新垣紀子 2010

(3)歌詞を含む音楽は集中を妨げる働きをもつ
(4)歌詞なし音楽が学習中のBGMとして望ましい
「BGMが作業の印象に与える影響—ながら習慣に焦点を当てたオンライン実験による検討—」高久美月・池上真平 2022

(5)人の声は相手の印象に大きく影響するため聞き流すための音楽であるBGMには向かない
(6)人の声とピアノの音は周波数が近いため打ち消し合う
「心を動かす音の心理学 行動を支配する音楽の力」齋藤寛 ヤマハミュージックエンタテイメントホールディングス 2011

(7)知的作業に適するBGMは、テンポはゆっくり
リズムはあまりはっきりしない
メロディは緩やかで落ち着いたもの
(8)提示する音楽の種類や音量を適切に管理すれば、BGMは作業量に悪影響を与えない
(9)提示音楽の好みと関係あり
「計算課題の遂行に及ぼすBGMの影響について—一認知的側面と情意的側面からの検討—」菅千索 岩本陽介 2003

(10)無音状態では作業効率が低下
(11)BGMは騒音の遮蔽に効果がある
(12)より速く正確な思考をするほどBGMは邪魔になる
(13)BGMの種類による差はない
「演習主体とする授業におけるBGMによる教育効果」中川卓也・大向雅人・津吉彰 2017

(14)店舗経営側からすると、回転率を上げたい場合⇒にぎやかなテンポの速い曲
客に長く留まってほしい場合⇒静かでテンポの遅い曲
「BGMは購買意欲をかき立てるか」高口央 2011

(15)BGMによって生産性が高まりミス率が減少し、作業疲労の軽減と士気の向上が図られることが実証済み
「図解雑学 CDでわかる音楽の科学」岩宮眞一郎 ナツメ社 2009

調査・研究 ②

- (1)(2)(7) ⇒テンポ
(3)(4)(5) ⇒歌詞
(6)(11) ⇒マスキング効果
(8)(10)(12)(13)(15) ⇒作業効率

(9)(14) その他

調査・研究 ③

- (1)(2)(7) ⇒ゆっくりとしたテンポで落ち着いた曲がよい
(3)(4)(5) ⇒歌詞のない音楽が望ましい
(6)(10)(11)(12)(13) ⇒話し合いの授業で活用
(14) ⇒購買で活用
(15) ⇒体育の授業、体育系の行事

問題点

- ・誰が流すのか
- ・(9) ⇒個人差

結論

学校でBGMを活用することは難しいのではないかと考えた。音楽の好みの個人差や音響設備の問題から、学校でBGMを流すのが良いと一概には言えない。結論を出すことは難しい。

さらなる発展に向けて

研究をするにあたって、常に見通しをもって研究を進める大切さを学んだ。「広く浅く」ではなく「狭く深く」内容を掘り下げられるような研究テーマを選ぶことで、研究の行き詰まりを防ぐことが出来ると思った。

主な参考文献・調査等

- 「BGMのテンポの違いが作業効率に与える影響」阿部麻美・新垣紀子
「BGMが作業の印象に与える影響—ながら習慣に焦点を当てたオンライン実験による検討—」高久美月・池上真平
「心を動かす音の心理学 行動を支配する音楽の力」齋藤寛
「計算課題の遂行に及ぼすBGMの影響について—一認知的側面と情意的側面からの検討—」菅千索 岩本陽介
「演習主体とする授業におけるBGMによる教育効果」中川卓也・大向雅人・津吉彰
「BGMは購買意欲をかき立てるか」高口央
「図解雑学 CDでわかる音楽の科学」岩宮眞一郎